



【評価シート（評価項目単位の評価）部分】

| 大学等名         |     |                  |     |                  |      |                  |
|--------------|-----|------------------|-----|------------------|------|------------------|
| 評価項目：実施体制    |     |                  |     |                  |      |                  |
| 活動の分類        | 観点1 | 観点1での活動の分類を通じた状況 | 観点2 | 観点2での活動の分類を通じた状況 | 観点3  | 観点3での活動の分類を通じた状況 |
| 教職員等の受け入れ・派遣 |     |                  |     |                  |      |                  |
| 教育・学生交流      |     |                  |     |                  |      |                  |
| 国際会議等の開催・参加  |     |                  |     |                  |      |                  |
| 国際共同研究の実施・参加 |     |                  |     |                  |      |                  |
| 国際途上国等への国際協力 |     |                  |     |                  |      |                  |
| 分析する上での問題点   |     |                  |     |                  |      |                  |
|              |     |                  |     |                  | 副担意見 |                  |

  

| 自己評価書の記述        |  |  |              | 書面調査段階での分析状況 |  | 副担意見 |
|-----------------|--|--|--------------|--------------|--|------|
| 水準の判断           | <input type="checkbox"/> 十分に貢献している<br><input type="checkbox"/> おおむね貢献している<br><input type="checkbox"/> 限りに貢献している<br><input type="checkbox"/> ほとんど貢献している<br><input type="checkbox"/> ほとんど貢献していない | <input type="checkbox"/> 十分に貢献している<br><input type="checkbox"/> おおむね貢献している<br><input type="checkbox"/> 限りに貢献している<br><input type="checkbox"/> ほとんど貢献している<br><input type="checkbox"/> ほとんど貢献していない |              |              |  |      |
| 水準の判断に当たっての考慮事項 | .....  |  | ヒアリングで確認する事項 |              |  |      |

「観点での活動の分類を通じた状況」欄  
左欄の観点ごとの判断を参考にしつつ、当該観点における、活動の分類を通じた状況を要約して記載する。なお、観点ごとの判断の一覧表には、当該評価項目における「活動の分類単位の評価」での観点ごとの判断が反映された形で示されている。

「分析する上での問題点」欄  
当該評価項目において、分析作業を進める上で、観点ごとの判断で「分析不能」と判断した事項を中心に、評価チームとして検討が必要であるものを整理し、今後さらに分析を進める上での問題点として記載する。

「自己評価書の記述」欄  
大学等の自己評価結果の「水準の判断」、「水準の判断に当たっての考慮事項」の記述を、事務局が転記する形で記載されている。

「水準の判断」欄  
評価項目ごとの水準は、「活動の分類単位の評価」での分析結果を総体的に見て、P26「水準の記述法とその考え方」により判断し、該当する判断結果にチェックする。

「水準の判断に当たっての考慮事項」欄  
水準の判断を導く際に特に考慮する事項があれば記載する。

「ヒアリングで確認する事項」欄  
自己評価書の記述での「水準の判断に当たっての考慮事項」に関して、大学等に確認を要すると判断される事項を整理し、簡潔に記載する。

「副担意見」欄  
主担が作成した分析結果について、副担が意見を記載する。

【評価シート（特に優れた点及び改善を要する点等）部分】

| 大学等名             |                          |                            |  |      |      |
|------------------|--------------------------|----------------------------|--|------|------|
| 特に優れた点及び改善を要する点等 |                          |                            |  |      |      |
| 書面調査段階での分析状況     |                          | 特に重要な点として取り上げた（取り上げなかった）理由 |  | 該当箇所 | 副担意見 |
| 特色ある取組           |                          |                            |  |      |      |
| .....            | <input type="checkbox"/> | 取り上げる<br>取り上げない            |  |      |      |
| 特に優れた点           |                          |                            |  |      |      |
| .....            | <input type="checkbox"/> | 取り上げる<br>取り上げない            |  |      |      |
| 改善を要する点          |                          |                            |  |      |      |
| .....            | <input type="checkbox"/> | 取り上げる<br>取り上げない            |  |      |      |
| 問題点              |                          |                            |  |      |      |
| .....            | <input type="checkbox"/> | 取り上げる<br>取り上げない            |  |      |      |

「書面調査段階での分析状況」欄  
大学等の自己評価結果において、大学等が特に重要な点として取り上げた事項があれば、事務局が転記している。

大学等が特に重要な点として取り上げた事項について、評価担当が上記の考え方にに基づき、重要な点として取り上げるかどうかを判断し、取り上げる場合は、「活動の分類単位の評価」の分析結果の記述を用いて、大学等の自己評価結果の記述を加筆・修正をする。

大学等が特に重要な点として取り上げない事項を評価担当が取り上げる場合は、該当する判断（「特色ある取組」、「特に優れた点」、「改善を要する点」、「問題点」）での空欄となっている箇所に、特に重要な点として取り上げる事項を記載する。

「特に重要な点として取り上げた（取り上げなかった）理由」欄  
大学等の自己評価結果において、大学等が特に重要な点として取り上げた事項を、評価担当が特に重要な点として取り上げるかどうかをチェックし、重要な点として取り上げた理由を具体的に記載する。また、大学等が特に重要な点として、取り上げていない事項を評価担当が特に重要な点として、取り上げた場合は、その理由を記載する。

「副担意見」欄  
主担が作成した分析結果について、副担が意見を記載する。

評価項目「実施体制」での評価項目単位の評価は以上であるが、その他の評価項目においても同様に評価作業を進めることとなる。

【評価シート（ヒアリング用）大学等送付時イメージ】

活動の分類単位の評価部分

| 大学等名                        |  |                        |        |
|-----------------------------|--|------------------------|--------|
| 全学テーマ別評価「国際的な連携及び交流活動」      |  |                        |        |
| 大学等名                        |  |                        |        |
| ヒアリング日時                     |  | 月 日 ( ) : - :          |        |
| 【「書面調査段階での分析状況」欄】           |  | 【「大学等の情報、特に記入上の配慮事項」欄】 |        |
| .....                       |  | .....                  |        |
| <b>活動の分類単位の評価</b>           |  |                        |        |
| <b>活動の分類 1：教職員等の受け入れ・派遣</b> |  |                        |        |
| 書面調査段階での分析状況                |  | ヒアリングで確認する事項           | 大学等の回答 |
| 評価項目：実施体制                   |  |                        |        |
| 観点1：実施体制の整備・機能              |  |                        |        |
| .....                       |  | .....                  |        |
| 判断結果                        |  |                        |        |
| 観点2：活動目標の周知・公表              |  |                        |        |
| .....                       |  | .....                  |        |
| 判断結果                        |  |                        |        |

評価項目単位の評価部分

| 大学等名             |  |              |        |
|------------------|--|--------------|--------|
| 評価項目単位の評価        |  |              |        |
| 書面調査段階での分析状況     |  | ヒアリングで確認する事項 | 大学等の回答 |
| 評価項目：実施体制        |  |              |        |
| 評価項目全体の水準        |  |              |        |
| 自己評価             |  | .....        |        |
| 水準の判断に当たっての考慮事項  |  | .....        |        |
| 特に優れた点及び改善を要する点等 |  |              |        |
| .....            |  |              |        |
| .....            |  |              |        |
| .....            |  |              |        |
| .....            |  |              |        |

【評価シート（評価結果原案作成用）イメージ】

「活動の分類単位の評価部分」、「評価項目単位の評価部分」については【評価シート（ヒアリング用）大学等送付時イメージ】と同様の様式である。

観点での活動の分類を通じた状況部分

| 大学等名            |     |                  |     |                  |     |                  |
|-----------------|-----|------------------|-----|------------------|-----|------------------|
| 観点での活動の分類を通じた状況 |     |                  |     |                  |     |                  |
| 評価項目：実施体制       |     |                  |     |                  |     |                  |
| 活動の分類           | 観点1 | 観点1での活動の分類を通じた状況 | 観点2 | 観点2での活動の分類を通じた状況 | 観点3 | 観点3での活動の分類を通じた状況 |
| 教職員等の受け入れ・派遣    |     |                  |     |                  |     |                  |
| 教育・学生交流         |     |                  |     |                  |     |                  |
| 国際会議等の開催・参加     |     |                  |     |                  |     |                  |
| 国際共同研究の実施・参加    |     |                  |     |                  |     |                  |
| 国際途上国等への国際協力    |     |                  |     |                  |     |                  |
| 評価項目：活動の内容及び方法  |     |                  |     |                  |     |                  |
| 活動の分類           | 観点1 | 観点1での活動の分類を通じた状況 | 観点2 | 観点2での活動の分類を通じた状況 |     |                  |
| 教職員等の受け入れ・派遣    |     |                  |     |                  |     |                  |
| 教育・学生交流         |     |                  |     |                  |     |                  |
| 国際会議等の開催・参加     |     |                  |     |                  |     |                  |
| 国際共同研究の実施・参加    |     |                  |     |                  |     |                  |
| 国際途上国等への国際協力    |     |                  |     |                  |     |                  |
| 評価項目：活動の実績及び効果  |     |                  |     |                  |     |                  |
| 活動の分類           | 観点1 | 観点1での活動の分類を通じた状況 | 観点2 | 観点2での活動の分類を通じた状況 |     |                  |
| 教職員等の受け入れ・派遣    |     |                  |     |                  |     |                  |
| 教育・学生交流         |     |                  |     |                  |     |                  |
| 国際会議等の開催・参加     |     |                  |     |                  |     |                  |
| 国際共同研究の実施・参加    |     |                  |     |                  |     |                  |
| 国際途上国等への国際協力    |     |                  |     |                  |     |                  |



書面調査段階での評価案概要

「書面調査段階での評価案」及び「訪問調査時の確認事項」

この概要は、評価項目ごとに、「要素ごとの評価」及び「訪問調査時の確認事項」について、記述しております。  
最終的な評価結果の取りまとめは、この概要の確認事項及びその他の調査結果を踏まえて行うこととなります。  
なお、以下の文中「訪問調査時の確認事項」の内、は補足説明を要するもの、は根拠資料・データ等による確認を要するものを示しています。

(1) 教育の実施体制

目的及び目標の実現への貢献度の状況

【要素1】教育実施組織の整備に関する取組状況

観点ごとの評価で得られた分析結果を基に、当該取組の状況と根拠・理由を示す形で、原則として「要素」ごとに記述する。  
別紙様式3（書面調査取りまとめ表）の記述から整理する。

(訪問調査時の確認事項)

は補足説明を要する記述  
は根拠資料・データ等による確認を要する記述  
別紙様式3（書面調査取りまとめ表）の記述から整理する。

【要素2】教育目的及び目標の趣旨の周知及び公表に関する取組状況

観点ごとの評価で得られた分析結果を基に、当該取組の状況と根拠・理由を示す形で、原則として「要素」ごとに記述する。  
別紙様式3（書面調査取りまとめ表）の記述から整理する。

(訪問調査時の確認事項)

は補足説明を要する記述  
は根拠資料・データ等による確認を要する記述  
別紙様式3（書面調査取りまとめ表）の記述から整理する。

「補足説明記入欄」

この欄には、「要素ごとの評価」に掲げる「訪問調査時の確認事項」について補足説明を簡潔に記入してください。また、書面調査段階の評価結果について御意見等がある場合には、別様で作成（様式任意）してください。なお、上記の補足説明に伴い、根拠資料・データ等が必要な場合及び「訪問調査時の確認事項」の内、根拠資料・データ等の確認が必要なものについては、別途、準備してください。

# 分野別研究評価「経済学系」

## 【研究目的及び目標の記述状況確認票 様式】

(分野別研究評価「経済学系」)

|       |    |       |         |        |
|-------|----|-------|---------|--------|
| 対象組織名 | 大学 | 評価チーム | 第 評価チーム | チーム員氏名 |
|-------|----|-------|---------|--------|

本票は、各対象組織の目的及び目標について、自己評価実施要項に示している「目的及び目標の整理に当たっての視点」、「目的及び目標の記述に当たっての留意事項」及び評価実施手引書に示している「研究目的及び目標の双方に通ずる確約の具体的な視点」に基づき、その明確性・具体性を確認するものである。

**チェック項目**  
各チェック項目の内容が表現されている程度を判断し該当すると思われるものに 記入する。

| 【チェック項目】 / 表現されている程度                      | なっている / 明確に<br>関係している | 大体なっている /<br>関係が分かる | なっていない / 関係が<br>分からない |
|---|-----------------------|---------------------|-----------------------|
| 内的諸条件等や対象組織に対する様々な社会的要請等を考慮した記述になっているか    |                       |                     |                       |
| 活動そのものだけでなく、活動で目指している意図や課題の記述になっているか      |                       |                     |                       |
| 今後の目的及び目標としてではなく、現在の活動の意図や課題としての記述になっているか |                       |                     |                       |
| 目的と目標との対応関係はどうか                           |                       |                     |                       |
| 研究目的及び目標と評価項目や評価項目の要素との対応関係はどうか           |                       |                     |                       |

**研究目的及び目標に関する確認事項**  
その他、自己評価書を通して読み、これから自己評価書の分析・調査を行うに当たって、研究目的及び目標についての疑問点等や不足資料等の提出要望等があれば記入する。

## 【記入要領】

- ・ チェック項目  
各チェック項目の内容が表現されている程度を判断し、該当すると思われるものに 記入する。  
( 評価実施手引書P18～19, P22参照)
  - ・ 研究目的及び目標に関する確認事項  
その他、自己評価書を通して読み、これから自己評価書の分析・調査を行うに当たって、研究目的及び目標についての疑問点等や不足資料等の提出要望等があれば記入する。
- 例：・ 研究目標 3 と研究目標 4 について、記述内容の違いがないように思われる。どう違うのか。  
・ 研究目的 1 の中で使われている「地域」という語句は、対象組織所在地周辺を指しているのか、より広い範囲又は、ある特定の場所を指しているのか。

## 【記入票 様式 例】

「1 研究体制及び研究支援体制」、「4 諸施策及び諸機能の達成状況」及び「5 研究の質の向上及び改善のためのシステム」

大学

書面調査記入票

評価項目 1 研究体制及び研究支援体制

チーム員氏名: \_\_\_\_\_

① 評価観点ごとの評価

| 要素                              | 観点                        | A<br>特色ある取組、優れた点、改善を要する点、問題点などの記述 (右記の判断の理由) | B、C<br>観点ごとの判断 |   | D<br>ヒアリング調査事項<br>該当点がある場合は必ず調査した旨を記入する |
|---------------------------------|---------------------------|--|----------------|---|---|
|                                 |                           |  | 優              | 劣 |   |
| 要素 1 研究体制に関する取組状況               | 観点 1 組織の弾力化               |  |                |   |   |
|                                 | 観点 2 研究活動を活性化するための体制      |  |                |   |   |
|                                 | 観点 3 研究環境管理体制             |  |                |   |   |
| 要素 2 研究支援体制に関する取組状況             | 観点 1 研究支援に関わる研究者・技術者の配置   |  |                |   |   |
|                                 | 観点 2 施設・設備の円滑な利用体制        |  |                |   |   |
|                                 | 観点 1 人事関係の方策              |  |                |   |   |
| 要素 3 諸施策に関する取組状況                | 観点 1 共同研究等を行う方策           |  |                |   |   |
|                                 | 観点 2 商学的研究等を行う方策          |  |                |   |   |
|                                 | 観点 3 研究資金の獲得・配分・運用に関する方策  |  |                |   |   |
|                                 | 観点 4 研究環境の整備方策            |  |                |   |   |
| 要素 4 諸機能に関する取組状況                | 観点 1 共同研究に対するサービス機能       |  |                |   |   |
|                                 | 観点 2 施設・設備の共同利用に対するサービス機能 |  |                |   |   |
| 要素 5 研究目的及び目標の達成の進捗及び公表に関する取組状況 | 観点 1 教職員・学生 等に対する進捗の公表    |  |                |   |   |
|                                 | 観点 2 学生等に対する公表の方法         |  |                |   |   |

② 追加すべき観点等 (自己評価書に記述はないが、当該組織の目的及び目標から判断して、取組状況を確認する必要があると考えられることなど)

| E<br>追加すべき観点等 | F<br>確認を要する取組・活動等の内容 | G<br>確認が必要な理由 | H<br>確認が必要な理由 |
|---------------|----------------------|---------------|---------------|
|               |                      |               |               |
|               |                      |               |               |

③ 評価項目全体を通して、気づいた点

## 「2 研究内容及び水準」「3 研究の社会(社会・経済・文化)の効果」

大学

書面調査記入票

評価項目 2 研究内容及び水準

チーム員氏名: \_\_\_\_\_

① 評価観点ごとの評価

| 観点                                    | A<br>特色ある取組、優れた点、改善を要する点、問題点などの記述 | D<br>ヒアリング調査事項 |
|---------------------------------------|-----------------------------------|----------------|
| 観点 1 研究活動の独創性・有用性・発見性・他分野への貢献の裏でされた研究 |                                   |                |
| 観点 2 学際・学内外の動向や社会的要請の観点から見た特色         |                                   |                |
| 観点 3 対象組織の構成・研究の環境や地域性・協理的な条件等から見た特色  |                                   |                |

② 追加すべき観点等 (自己評価書に記述はないが、当該組織の目的及び目標から判断して、取組状況を確認する必要があると考えられることなど)

| F<br>追加すべき観点 | G<br>確認を要する取組・活動等の内容 | H<br>確認が必要な理由 |
|--------------|----------------------|---------------|
|              |                      |               |
|              |                      |               |

③ 評価項目全体を通して、気づいた点

## 書面調査段階での評価案(素案) (様式例)

書面調査段階での評価案

1 研究体制及び研究支援体制

目的及び目標の実現への貢献度の状況

要素 1 研究体制に関する取組状況 (観点 1 組織の弾力化)

観点ごとの記述  
書面調査記入票の「A」の記述  
・ チーム員 の分  
・ チーム員 の分 から整理する。

ヒアリング調査事項  
書面調査記入票の「D」の記述  
・ チーム員 の分  
・ チーム員 の分 から整理する。

観点の分析の記述 優れている。

(観点 2 研究活動を活性化するための体制)

観点ごとの記述  
書面調査記入票の「A」の記述  
・ チーム員 の分  
・ チーム員 の分 から整理する。

ヒアリング調査事項  
書面調査記入票の「D」の記述  
・ チーム員 の分  
・ チーム員 の分 から整理する。

観点の分析の記述 相応である。

(観点 3 研究環境管理体制)

観点ごとの記述  
書面調査記入票の「A」の記述  
・ チーム員 の分  
・ チーム員 の分 から整理する。

ヒアリング調査事項  
書面調査記入票の「D」の記述  
・ チーム員 の分  
・ チーム員 の分 から整理する。

観点の分析の記述 問題がある。

追加すべき観点がある場合 (観点 4 書面調査記入票「F」の記述)

ヒアリング調査事項  
書面調査記入票の「G」の記述  
・ チーム員 の分  
・ チーム員 の分 から整理する。

要素の判断の記述 おおむね貢献している。  
(中略)

評価項目の水準の記述 相応に貢献している。

観点の分析、要素の判断、評価項目の水準は、書面調査段階での評価案概要には記述しない場合もある。ヒアリング後に最終的な水準をチーム会議で話し合い、決定する。

特に優れた点及び改善点等

観点ごとの記述の中から特に優れた点、特色ある取組、問題点、改善点等の特筆すべき事項を整理して、記述する。  
書面調査段階での評価案概要として、対象組織には通知しない。

## 2 研究内容及び水準

研究目的及び目標並びに教員の構成及び対象組織（機関）の置かれている諸条件に照らした記述

（観点1 研究活動の独創性あるいは有用性、発展性、他分野への貢献の面で優れた研究）

観点ごとの記述

書面調査記入票の「A」の記述

・ チーム員 の分

・ チーム員 の分

+

個人別研究活動判定記入票のコメント欄（「部会」における判定作業；P7参照）から、各評価チーム内で、チーム員が、それぞれの専門領域に応じて分担して、特筆すべき研究などを整理する。

から整理する。

ヒアリング調査事項

書面調査記入票の「D」の記述

・ チーム員 の分

・ チーム員 の分 から整理する。

（観点2 学問の内外の動向や社会的要請の視点からの特色）

観点ごとの記述

書面調査記入票の「A」の記述

・ チーム員 の分

・ チーム員 の分

+

個人別研究活動判定記入票のコメント欄（「部会」における判定作業；P7参照）から、各評価チーム内で、チーム員が、それぞれの専門領域に応じて分担して、特筆すべき研究などを整理する。

から整理する。

ヒアリング調査事項

書面調査記入票の「D」の記述

・ チーム員 の分

・ チーム員 の分 から整理する。

（観点3 教員組織の構成、資金の規模や地域性・地理的条件等から見た特色）

観点ごとの記述

書面調査記入票の「A」の記述

・ チーム員 の分

・ チーム員 の分 から整理する。

ヒアリング調査事項

書面調査記入票の「D」の記述

・ チーム員 の分

・ チーム員 の分 から整理する。

組織全体及び領域ごとの判定結果

書面調査段階での評価案概要として対象組織に通知しない。

（**倫理領域**）

・ 研究水準については、構成員（ 人）の 割合が卓越、 割合が優秀、 割合が普通、 割合が要努力。

（**経済学領域**）

・ 研究水準については、構成員（ 人）の 割合が卓越、 割合が優秀、 割合が普通、 割合が要努力。

（**経営学領域**）

・ 研究水準については、構成員（ 人）の 割合が卓越、 割合が優秀、 割合が普通、 割合が要努力。